

試験区分：電気 施設系

Q . 仕事内容を教えてください。

A . 電気設備工事に係る設計・積算・施工管理・調査・統計・報告・届出を行います。具体的には、新営や改修工事等を行う施設の電気工事について設計や積算を行い、また、現場代理人との工事の打ち合わせや現場確認等を行っています。

Q . 取得しておいたほうがよい資格や知識はありますか。

A . 「電験三種」以上の資格を取得、あるいはそれ同等の知識があると、最初から仕事が理解しやすくなります。それらの知識がなくとも、就職後、実際に勤務を行いながら学んでいくことができますが、電気に関する基礎知識はあらかじめ身に付けておいた方が良いと思います。

Q . 二次試験の内容はどのようなものでしたか。

A . 面接は受験者1人対面接官4人の個人面接で行われました。志望動機や大学で学んだこと等のほか、中途採用だったので、前職での経験や身に付けている知識や技術（CAD等）などを問われました。

Q . どのような人材が求められていると思いますか。

A . 施設系技術職員は大学の大規模施設を適切に運用・管理することが使命であり、施設設備の設計・維持・管理を適切に遂行できる基盤となる専門的知識・技術と、大学の組織運営全体を見据えた施設管理を総合的に考える企画・調整能力を兼ね備えた人材が求められます。

Q . 研修制度について教えてください。

A . 採用後早い時期に事務系職員と合同で初任者研修（国立大学の職員として備えるべき一般的知識の修得を目的とした）があります。また、他の国立大学法人等と合同で行われる施設系技術職員を対象とした施設管理に関する専門研修（施設系技術職員固有の専門知識・技術の修得を目的としたもの）を受講することができます。他にも、事務系職員と合同で職員の階層に応じて実施される一般研修（学内又は他機関と合同で実施されるもの）に参加することができます。

Q . 人事異動はどのようになっていますか。

A . 一定の経験を積み、スキルアップを図ることにより、能力に応じて上位の職位（主任、係長、副課長、課長、部長）へ昇進することが可能となります。

Q . 他機関との人事交流はありますか。

A . 他の国立大学法人等へ、計画的な人事交流により、一定の期間出向を命じられることがあります。

